

講義「ピア・カウンセリングとは」

■講師 齋藤 利郎 (NPO 法人家族のこころのケアを支援する会理事)

北海道小樽市出身。1960年、日本大学卒業。日本ルーテル教団神学院、Lutheran School of Theology at Chicago (教育学修士)。アメリカにて家族療法を中心に様々な心理療法を学び、日本ルーテル教団牧師(1964～1994)、浦和ルーテル学院(非常勤)、聖望学園中・高等学校(宗教主任)、開智中・高等学校(スクールカウンセラー)、武蔵野女子大学講師、東洋英和女学院短期大学非常勤講師等を経て、カウンセリング相談と技法研究をおこなう「トシ家族療法研究所」(1998)、そして「特定非営利活動法人家族のこころのケアを支援する会」(2003)を設立。現在は研究所所長、法人理事として、ナラティブ・セラピーの研究と実践、普及に力を入れている。著書「教育カウンセリングと家族システムズ」現代書林、「ピア・カウンセリング～高齢者ピア・カウンセラー養成の試み」現代書林 他

講義「老年期の人びとについて～高齢者への傾聴ボランティアとして、認知症、高齢期のうつへの対応を含む」

■講師 長田 久雄 (桜美林大学大学院教授/医学博士)

桜美林大学大学院老年学研究科教授。同志社大学文学部卒業、早稲田大学大学院修了(心理学専攻)文学修士、東京都老人総合研究所、東京都立保健科学大学(現、首都大学東京)勤務を経て、2002年より現職。臨床心理士、指導健康心理士、博士(医学)。日本老年社会学会理事長、日本認知症ケア学会副理事長、日本健康心理学会理事、日本ヒューマン・ケア心理学会常任理事、日本応用老年学会常任理事、財団法人認知症予防財団理事、財団法人成長科学協会理事。研究テーマは高齢者の心理・社会的特性、認知症の心理的ケアであり、著書には「老年学要論」建帛社、『心ふれあう「傾聴」のすすめ』河出書房新社、「認知症ケアの基礎知識」ワールドプランニング等がある。

講義「父親、母親と育児：親業の支援～ひきこもり、不登校、怠業、逸脱行動などへの対応」

■講師 井上 忠典 (東京成徳大学教授)

広島県福山市出身。1987年筑波大学第二学群人間学類卒業、1992年筑波大学博士課程心理学研究科中退(教育学修士)。筑波大学心理学系助手、上越教育大学専任講師、高知大学助教授を経て、現職。大学勤務と並行して、精神科クリニック臨床心理士、大学学生相談カウンセラー、小学校・中学校・高校スクールカウンセラー、EAP産業カウンセラーでの心理臨床経験を積んでいる。専門は臨床心理学(青年期の対人関係と適応、リラクゼーション法・自律訓練法・催眠療法)。著書に「臨床心理学から見た生徒指導・教育相談」(ブレーン出版2004)、論文に「大学生における親の養育態度と親の依存-独立の葛藤の関連」(高知大学教育学部研究報告第62号2002)他。

講義「職場の良好な人間関係 ～パワハラ、セクハラなどへの対応を含め、職場の人間関係にどう対応するか」

■講師 松田 英子（東洋大学教授／臨床心理士）2015年4月より

石川県金沢市出身。お茶の水女子大学文教育学部卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了、博士（人文科学）。江戸川大学社会学部人間心理学科教授、江戸川大学学生相談室長を経て、現職。放送大学大学院文化科学研究科人間発達科学プログラム客員教授。日本パーソナリティ心理学会常任理事、日本ストレスマネジメント学会理事、日本行動科学学会運営委員、日本カウンセリング学会認定スーパーバイザー。（株）フィスメックの産業カウンセラーEAP事業部の臨床心理士を勤めるなど、産業分野において活動している。著書に「図解 心理学が見る見るわかる」（サンマーク出版）、「夢と睡眠の心理学—認知行動療法の立場から」（風間書房）などがある。

講義「現代の若者のこころの病 ～精神疾患をまじえて考える」

■講師 石川 陽一（歌舞伎町メンタルクリニック／精神科医）

プロフィール編集中。ご参加の皆様には出来次第お知らせいたします。

講義「教師の相互援助関係 ～教師と教師がピア・カウンセリングをおこなうための諸条件」

■講師 高野 孝（元開智学園校長）

新潟県出身。1972年東京理科大学理学部物理学科卒業。1977年同大学数学科科目履修生。1978年聖望学園中学校・高等学校数学科教諭。1992年埼玉第一高等学校（現開智高等学校）に転任。1996年開智学園中高一貫部の設立準備室に所属。1997年同開設。教頭補佐、教頭、副校長、校長を務め2010年退任。同年安田学園中学校・高等学校に転任、教育企画開発本部長、学園改革委員長を務め、2014年退任。開智学園中高一貫部では、創造力と発信力をテーマにユニークな手法の教育を展開し、進学実績を飛躍的に伸ばし、開智学園を有数の進学校に育て上げた。